

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	世代間交流として、小中学生や園児などとの交流がなかなかはかれていないので、イベント等での交流を検討する必要がある。	積極的に小中学生や園児などとの世代間交流を図り、入居者の皆様に喜んでいただけるようにしていきたい。	・納涼祭や敬老会、音楽祭などに地域の園児や小中学生に来てもらうように学校や保育園に働きかける。 ・職場体験として中学生などを受け入れられるように地域の学校に働きかける。	12ヶ月
2	49	日常的な外出支援として、近隣の散歩や企画での地域資源の外出は行っているが、毎月定期的に行えているわけではない。	定期的に外出支援を行うことができるように、企画立案・実施につなげる必要がある。また、中庭に出での外気浴なども無理せずに行っていきたい。	・企画委員会、責任者会議において、定期的に外出支援を行うことができるよう検討する。 ・天候の良い日は、ホーム中庭でお茶を飲んだり、気分転換に外気浴を行う。 職員の内装率を上げ、職員定員に努め	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。